

おかい

杉並区議会だより

NO.220

平成26(2014)年1月1日発行

開かれた議会を
目指しています
**区議会の傍聴に
お越しく下さい**

発行/杉並区議会 編集/区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 FAX 5307-0695
☎ 3312-2111 <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/>
携帯サイト <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/>



2014年

今年もよろしく
お願い申し上げます

杉並区議会議員一同



議場の議席にて撮影

平成25年 第4回例会

**杉並区風致地区条例、一般会計補正
予算(第5号)(小学校特別教室の
空調設備整備等のため)を可決**

第4回定例会は、11月19日に開会し、12月6日までの18日間の会期で開催されました。初日から22日にかけては、24名の議員が区政一般について質問を行いました。22日は一般質問の後、区長から提案された条例案、補正予算案などの議案等12件が上程され、提案説明を受けた後、10件の議案を関係する常任委員会に付託しました。その後、委員会付託を省略した、人権擁護委員候補者の推薦についてを原案どおり可決し、損害賠償額決定の専決処分報告を承認しました。

25日、12月5日は、各常任・特別委員会が開かれ、付託された議案の審査等を行いました。11月27日には本会議(追加日程)が開催されて、区長から4件の条例案が上程され、提案説明の後、関係する常任委員会に付託しました。その後、議員から提出の1件の条例案が上程され、提案説明の後、議会運営委員会に付託しました。最終日12月6日の本会議では、各常任委員会委員長から付託された議案の審査経過が報告され、14件の区長提出議案を原案どおり可決し、議員提出議案1件も原案どおり可決しました。その後、議員から意見書の提出についての2件の議案が上程され、提案説明後、原案どおり可決し、第4回定例会を閉会しました(審議の結果は8面をご覧ください)。

新年のごあいさつ



杉並区議会議長
大泉 時男

あけましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平成26年の年頭に当たり、杉並区議会を代表して一言、ごあいさつを申し上げます。

さて、昨年9月、大変嬉しいニュースが飛び込んでまいりました。2020年(平成32年)の夏季オリンピック・パラリンピックの「東京開催」が決定されました。また、富士山の世界文化遺産登録、サッカーW杯への出場決定など、日本国中が元気になる、嬉しい話題の多い一年であったように思います。

一方で、台風や大雨、竜巻など、自然の脅威の前に多くの方が被害に遭われました。改めて、心よりお見舞いを申し上げます。改め

そのような中、杉並区では、一昨年に策定した基本構想の実現に向け、総合計画・実行計画の2年目の取組が進められました。そしてその

一環として、「施設再編整備計画」「使用料等の見直し」の素案が示されました。

急速な少子高齢社会を迎えようとする今、区議会といたしましてもこれらは避けて通れない大きな課題であると認識しております。区民の皆様とともに次世代に魅力ある杉並を継承していくるよう、真面目に、責任ある議論・審議を行ってまいります。併せて、これまで以上に皆様にとって身近な、開かれた区議会となるよう全力を尽くしてまいります。

ところで、平成25年を表す漢字は「輪」が選ばれました。日本中が輪になって歓喜にわいたことや、相次ぐ自然災害にも支援の輪が広がったことなどがその理由と報道されております。区議会と区長も、しばしば地方自治を推進する車の「両輪」に例えられますが、人と人とのつながり、支え合いなどを表すこの「輪」というキーワードをこれまで以上に意識し、なお一層推進力のある「輪」となるよう、我々区議会議員一同、54万区民の皆様と手を携え、切磋琢磨してまいりたいと存じます。

区民の皆様が笑顔があふれる1年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

本日もどうぞよろしく申し上げます。

年頭のあいさつ

◆年頭にあたり、議会各会派のあいさつをお届けします◆

杉並区議会 自由民主党

あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

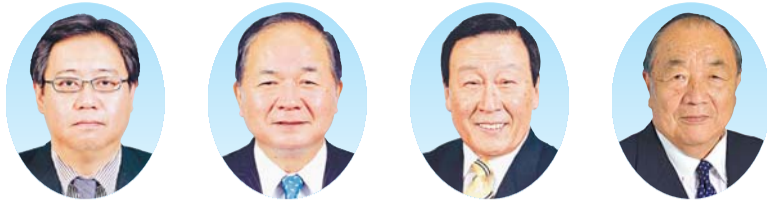
私たちは杉並区議会自由民主党は、自由民主党所属11名で会派を構成、議会第一会派として、議長会派として、活動させていただいております。さて、戦後70年近くの歩みの中で日本は大きく変わり、私たち日本人の価値観も変化しました。それに伴い、人々のライフスタイルの多様化や地域力、家族力の低下といった変化も見られます。また、日本は世界に類を見ない超少子高齢社会に突入しました。

加えて、近年の経済不振も重なり、ここ数年区民の皆様の区政への要望は確実に増加するとともにその幅も広がりをみせています。身近な例を挙げれば昨年、保育園の待機児童問題が大きな話題となりましたが、女性の社会進出を推奨すれば、当然起り得る問題であったとも言えます。また、ご集積所はこの10年間で1万カ所増加しました。行政にとって、これらは、収入は右肩下がりの中で、福祉施策を筆頭に施策の数と支出は右肩上がりという大変難しい命題が突きつけられている事を意味します。

しかし、区民の皆様が「部分最適」を求め、様々な要望をされる事は当然の権利です。私たちが杉並区議会自由民主党は本年も全力で活動してまいります。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

そうした中、これからの議員は、果たしてどうあるべきなのでしょう。私たちが杉並区議会自由民主党は、区民に寄り添い、真摯な対話に努め、知恵と工夫に溢れた施策を提案、きれいなポピュリズム政治とは一線を画すとともに、「全体最適」の視点で区政全般と次世代を的確に見据え、責任ある立場で活動していく事が求められていると考えます。そうした考えの下、今、区政の中で大きなテーマとなっている区立施設再編整備計画についても要望書を区へ提出致しました。「今と将来に責任ある区政」。

私たちは杉並区議会自由民主党は本年も全力で活動してまいります。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。



富本 卓 (幹事長)



大泉 時男



斉藤 常男



小泉 やすお



脇坂 たつや



吉田 あい



大熊 昌巳 (副幹事長)



井口 かづ子



大和田 伸



今井 ひろし



浅井 くにお

民主・社民クラブ

区民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、私どもの会派に、ご支援ご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年、景気経済が上向いたとされ、2020年五輪・パラリンピックの開催都市が東京に決定する等、多くの国民にとって嬉しい知らせが相次ぎました。一方で生活保護受給世帯数が過去最高に達する等、相変わらず富裕層と貧困層の格差が拡がり続けています。私どもは、そうした社会の負の側面を公契約条例の制定、若者の就労支援、高齢者介護、障がい者施策の充実、環境優

先のまちづくり等、議会における政策提言活動を通じ、解消をめざしてまいりました。いまだ道半ばですが、引き続き課題の解決に向け取り組んでまいります。

私どもは、区民意見の反映を強く要望してまいりました。今後とも区政と連携し、施策の実現に向けて、力を注いでまいります。本年も何とぞよろしくお願ひいたします。



増田 裕一



安斉 あきら (副幹事長)



小川 宗次郎



河津 利恵子 (幹事長)



市来 とも子



山本 あけみ



山下 かずあき

みんなの党杉並

あけましておめでとうございます。私は、特定の組織、集団から応援を受けない、しがらみのない立場から区政の課題解決に取り組みます。重要課題の中でも、自殺予

防対策、障がい者の親亡き後の支援、バリアフリー化など高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせるまちづくりのために特に力を尽くします。



横田 政直

無所属

本年は任期満了に伴う杉並区長選挙の年です。現区長が長期政権を狙っていることは区長就任直後いきなり自らの多選自粛条例を廃止させたことから明らかですが、本年



堀部 やすし

共に生きる杉並

新年を謹んでお慶びを申し上げます。ご家族皆様のご健康とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

この世に生を受けた、かけがえない私たち一人一人の命が輝いて生きていける杉並を、目指していきましょう。



木梨 もりよし

美しい杉並

働く喜び、家族の絆。ふるさと杉並を取り戻す為、昨年、当会派を結成しました。生活保護世帯への過剰助成や、姥捨て山のような遠隔地特養ホーム計画は見直すべきです。

自助・自立を尊び、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。杉並やみなみと注ぐ祝ひ酒今年も皆々様に幸あれ



田中ゆうたろう



杉並区議会 公明党

あけましておめでとうござい
ます。皆様には、お健やかに
新春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。日頃より公
明党への温かいご支援・ご厚
情を賜り、深く感謝申し上げ
ますとともに、本年が素晴ら
しい一年でありますよう心か
らお祈り申し上げます。

昨年、杉並区議会公明党は、
平成26年度予算編成に対して
は重点18項目を含め253項
目、区立施設再編整備計画
(素案)に対しては21項目の
提言・要望を区に提示しまし
た。また、議会においても、
防災・減災対策や疾病・介護
予防など区民の命・健康を守
る施策、喫緊の課題である保
育や介護の基盤整備など、
「福祉の党」公明党として、
積極的に要望・提案を行い、
活発に議論を展開してまいり

ました。
こうした私どもの日頃の活
動は、ご意見やご要望・ご相
談等を多くの区民の皆様から
お寄せいただいた賜物であり、
「現場の声」を区政に反映し
ていくとの思いの表れでもあ
ります。

本年11月17日、公明党は結
党50周年を迎えます。これま
でお支えいただいた皆様に衷
心より御礼申し上げます。

私も、「大衆とともに
語り 大衆とともに戦い 大
衆の中に死んでいく」との立
党精神に立ち返り、政策立案
能力と政策実現力の向上や課
題解決のための総合的な現場
対応力向上に取り組み、皆様
の負託に全力でお応えしてま
いる決意です。「新しい挑戦
と開拓」に前進してまいりま
す。



日本共産党 杉並区議団

あけましておめでとうござ
います。

日本共産党杉並区議団は、
「区民が主人公」となる区政
の実現のために、今年も全力
を尽くす決意です。

昨年は、わが党が繰り返し返
求めてきた認可保育所や特養
ホームの整備方針が示され、
重要な前進がありました。し
かし、一方で、児童館施設の
廃止やゆうゆう館の転用など
公共施設を大幅に縮小する

「区立施設再編整備計画」、
施設使用料登録団体の半額制
度をなくす「使用料等の見直
し」の素案が示されたことは
問題です。今後施設の建て替
えに多額の費用がかかること
を理由にしていますが、区の
昨年度末の基金残高は358
億円を超え、今後550億円
を貯める「財政のダム」構想
も持つなど、財政がひっ迫し
ている状況ではありません。
区民の大事な財産である区立
施設を減らし、サービスを後

無所属区民派

新年おめでとうござい
ます。

昨年は、早々と保育園待機児
童問題、生活保護や介護相談
に取り組みました。福島の子
どもの保養を実施し、放射能
被害自治体議員や原発立地住
民との交流を深めました。

今年、反原発自治体議
員・市民連盟の仲間と、原発
再稼働に立ち向かいます。認
可保育園、特養ホーム建設、



児童館事業の拡充、環境保護
を求める声に応え、会派を超
えて手を結び実現します。「困
ったときに一人にしません」
のお約束をいっそう貫きます。



自民と区政クラブ

あけましておめでとうござ
います。

我が会派は、議会人として、
「政策と議決責任」を重んじ
る、という想いを同じくし、
活動を続けている会派です。

区政経営の要諦は、将来世
代に対して現役世代のツケを
回すことなく、不断の行財政
改革に取り組み、規律ある財
政運営を行うことと考えてお
ります。



杉並同志会

明けましておめでとうござ
います。

本年は施設再編整備
計画等、区政の転換期を迎え
ます。今の区役所案では30年
後の杉並区の姿はほやけてい
ます。足りないモノを余って
いるモノから配置換えをする
のは大事な事ですが、短絡的
な事務的発想では単に区役所
の都合の良い再編になりかね
ません。区政は役所のため



区議会生活者 ネットワーク

昨年区が発表した「区立施
設再編整備計画」。現状が激
変する内容であるのにもかか
らず、当事者への事前の情報
提供がなく突然だったため、
区民に動揺が広がっています。

施設再編はコミュニティづく
りそのもの。子どもも高齢者
も安心して暮らせる地域コミ
ュニティづくりには、住民の参
画がなければ賛成できません。
自治基本条例のつとり、
大事なことは市民が決める区
政をつくる。暮らしにかかわ
る重要な計画への市民参画を
今年も提案していきます。



緑の党

議員になって11年。ずっと、
税金のムダ遣いダメ、生活困
窮者支援、福祉の充実、情報
公開、議会改革、タバコ対策、
男女平等を訴えてきました。

今年には増税や社会保障の削減
で、高齢者の介護不足、若者
の貧困化と国の政策の矛盾が
さらにあらわになります。生
活を守る防波堤として今年も
遠慮なく提言していきます。





一般

質

問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。
11月19日～22日に24名が質問しました。
その要旨をお知らせします。

将来の杉並を見据えて、
施設再編整備と使用料
見直しを問う



富本卓
(自民)

問 施設再編整備について、将来を見据え、新たな時代のニーズ、区民要望に即した整備を計画に取り入れるよう要望したが、修正素案に反映されたのか。
答 基本方針の中に緊急性の高い施設の一つとして特養ホーム等の優先的整備を明記した。

問 「あんさんぶる荻窪」と荻窪税務署等用地の財産交換協議といった、大きな取組が修正素案で打ち出された経緯は。
答 区は特養ホームの整備用地確保が困難であり、税務署は老朽化に伴う建て替えが課題であった。課題を解決する方策として、区が財産交換を提案し、国から協議したい旨回答があった。

問 交換用地を活用すれば、大規模な特養ホームの整備が可能になるが、区の特養ホーム整備計画の推進にどう寄与するのか。
答 総合計画に掲げた10年で1000床の整備目標の実現に向け、大きく寄与する。



問 使用料の見直しについて、区はどのような考えで、激変緩和措置をとるよう改めたのか。
答 登録団体利用の減額措置廃止と使用料改定が同時実施となるとの議会の指摘により改めた。

駅前事務所廃止に伴い
高円寺駅とセシオンを
結ぶバス路線を



藤本なおや
(自ク)

問 JR高円寺駅からセシオン杉並を経由するバス路線について、私は議員として11年間、重要課題と位置づけ、議会において度々その必要性を訴えてきた。今回示された施設再編整備計画素案では、高円寺駅前事務所が廃止され、セシオン杉並内にある高円寺区民事務所へ統合される方針から、住民の利便性確保は最低限整備すべきものと考えられる。そこで、平成26年秋に開院予定の佼成病院とセシオンを経由し高円寺駅とを結ぶ新規バス路線の整備を求めるが、区の認識と今後の見通しについて伺う。

答 この交通網は、中央線から佼成病院利用者の利便性向上と区民の南北方向の移動が円滑になることから必要と考える。現在民間バス事業者と調整中であり、事業者から「前向き」な回答を得ているので、区としても協力していきたい。



問 高円寺地域の新規バス路線開設にあたって、民間バス事業者へは東高円寺駅を経由する等ルート要望は行っているか。
答 現在ルートについては区から要望を行っていないが、今後事業者へ要望を伝えていきたい。

施設再編は今と未来の
区民ニーズへの対応を！
喫緊は特養！！



島田敏光
(公明)

問 区立施設再編整備計画の特養等整備の方向性は、施設数と定員の想定は。
答 公有地や施設再編整備で生じた施設・用地の活用等で、整備を進める。総合計画の10年1000床の目標を達成できる。

問 荻窪税務署等用地に建設する特養は、どのような特色を持つ施設になるのか。どのようなコンセプトで複合化を図るのか。
答 区全体の地域包括ケアのパックアップ機能を果たす施設になる。地域福祉の向上を図り、まちづくりへの寄与へつなげる。



問 計画には、再編整備により生み出された施設・用地の活用が記載されている。現時点で具体的にどこを想定しているのか。
答 科学館・杉並会館廃止後跡地も特養整備を視野に入れ検討中。「区立小中学校適正配置基本方針」の見直しを進めていると聞くが状況は、老朽改築や施設の適正規模の考え方は。

問 方針を発展的に継承した（仮称）杉並区立小中学校新しい学校づくり推進基本方針を今年度内に策定予定。学校の施設規模のスリム化、他施設との複合化・多機能化を基本に検討。検討している。

施設再編は区民と合意
を高めよ・地域福祉の
担い手を大切に



河津利恵子
(民社)

問 区立施設再編整備計画で、児童館の環境を、小学校でどう整備していくのか、教育環境整備の必要性を含めた区の見解は。
答 学校を核にした、地域の子育て支援機能の充実を図る。

問 一人暮らしや高齢世帯の高齢者の食の確保と日常的な安否確認は、区の責任において実施すべきと考えるが、区の見解は。
答 配食サービスによる安否確認は、高齢者の見守りの大きな役割を担っている。委託業者と連携し、適切に対応していく。



問 「ひととき保育」についての「広場」の利用状況等の実績と評価は。各事業者に対し、区立施設再編整備の動きや今後の方向性について情報を提供すべき。
答 ゆとりある子育てを支援する役割を果たしていると評価。運営事業者と定期的に行っている連絡会で情報提供等を行う。

問 大人の発達障がい者への対応支援事業は、今後も継続していくべき。また、個別対応ができる体制も整えるべき。
答 支援対象者を明確にして、体系的に支援に取り組む方向で検討している。

区内農地とみどりの保
全と創出



井口かつ子
(自民)

問 屋上緑化・壁面緑化助成制度の対象・要件をどう見直したのか。
答 個人と法人に区分し、基準単価と限度額を見直した。

問 中杉通りのケヤキの剪定が都により行われた経過と今後の管理は。
答 倒木等、周辺住民の生活に支障を来す恐れがあった。22年4月から、都が主体で、区・住民を含めた三者による「中杉通りケヤキ並木連絡会」を設置し、保護管理について検討。景観に配慮しつつ、健全な育成を図る。

問 区民農園や体験型農園が閉園となる状況を区はどう受け止めているのか。農地保全という点では、今後も必要と考えるが、いずれも区民からの需要が高いことから、引き続き農家の協力を得ながら確保に努める。



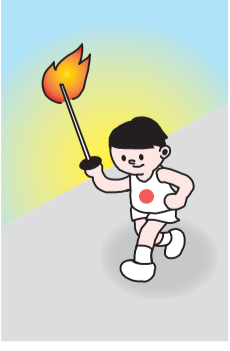
問 世田谷区や練馬区等では、区民が自由に農作業を体験できる農業公園を開設しているようだが、区の考えは。
答 長年、体験型農園として親しまれてきた「ファーム荻窪」を農業公園として整備することが望ましいと考えており、所有者と協議を行っている。

善福寺川の水害対策、
西武新宿線の早期連続
立体交差化を



浅井くにお
(自民)

問 2020夏季オリンピック・パラリンピックに向け区は関係へ働き掛けて、49年前の東京オリンピックと同様に聖火リレーを青梅街道に走らせよう。
答 子どもたちに大きな夢と希望を与える好機。聖火リレーコースの指定等、積極的に区の考えを表明していく。



問 区は、善福寺川上流部の町で、水害対策のため建物の高床化等ができるよう、建築規制の緩和も視野にまちづくりに入れ。
答 建築規制の緩和等による周辺環境への影響が課題。まずは雨水流出抑制対策等を継続し、情報提供や必要な支援を行う。

問 杉並百景の風格ある阿佐ヶ谷中杉通りのケヤキ並木、景観条例でもモデルに位置付けている。並木の保護管理名目で樹の生態を無視した手入れはやめるべき。
答 地元・専門家・都・区で話し合って実施している。今後も良好な景観形成に努める。

問 西武新宿線沿線のまちづくりでは、鉄道連続立体交差事業の早期着手が必要。区の決意は。
答 鉄道連続立体交差化の早期実現に向け、沿線住民と促進活動に取り組む。



赤ちゃんからお年寄りまで、命を守る杉並区を目指して！



吉田あい (自民)

問 災害時に妊産婦と乳幼児を守る取組を積極的に進めていただきたい。

答 分娩などの対応に係る病院等との連携や被災乳児の民間施設での受け入れ等、他自治体の取組を参考に今後検討を進める。

問 介護離職者を出さないため、在宅介護が必要な方に、適切なサービスが必要。区は働きながら介護する家族へどのような支援を行っているのか。

答 ケアマネが家族の生活状況等も把握し必要な介護サービスに対応。区では、家族の負担軽減のため家族介護支援、日常生活支援、見守り等の事業も実施。

問 健康と福祉をメインとしたスポーツ施設、とりわけ武道場に力を入れた施設の設置を検討していただきたい。

答 区立施設再編整備により生じた施設や用地の活用を検討するとともに、東京五輪開催決定を踏まえ、都へ施設充実の要望や武道場設置も検討する。



問 幼児虐待を防ぐためにも特別養子縁組制度を活用し、予期せぬ妊娠に悩む方から不妊のご夫婦へ、命の橋渡しをしてほしい。

答 適切な対応に努める。

「都市計画・高井戸公園の整備について」地域の声を届ける



大熊昌巳 (自民)

問 25年1月に都が行った公園整備事業についての説明会は、地域住民に対する配慮が欠けるものであったと感じた。整備に理解を示していた住民から計画の変更等を求める声もある。どういう位置付けで行われたのか。

答 説明会は、計画区域内に居住する方からの要望により、都が主催したもので、事業への理解を深めてもらうために行った。

問 現在の公園整備の都の動向を、区はどう把握しているのか。

答 都は24年8月、印刷局旧久我山運動場・王子製紙富士見ヶ丘グラウンド・NHK富士見ヶ丘旧運動場、合わせて10・9ヘクタールの区域の事業認可を取得し、25年3月に印刷局旧久我山運動場の用地を取得した。残りの2つのグラウンドも、用地取得を進める予定と聞いている。



問 公園整備にあたり、都市計画の犠牲者であるとの思いに地域住民が至らぬように、特段の配慮を持って事業を行うよう、都へ伝えていただきたい。

答 地元への丁寧な説明・対応を都に求めていく。区としても関係機関と連携しながら地域住民と共に考え、取り組んでいく。

児童館再編と(仮称)子どもセンター及び新制度について



今井ひろし (自民)

問 児童館運営についての課題と、その解決としての手だてとしての再編なのかを問う。

答 児童館の限られたスペースの中で、乳幼児から中・高校生へのニーズ変化等への確かな対応を図るのは困難。そのため、児童館で実施している事業を充実・発展させるために再編を図る。

問 (仮称)子どもセンター整備の目的とその意義、子育て中の保護者にとってのメリットは。

答 子育て支援の第一義的な窓口として整備する。保護者にとっては、本庁舎に来なくても一定の手続きができるようになる等、利便性が向上する。



問 子ども・子育て支援新制度において、(仮称)子どもセンターは地域型保育事業を行う拠点となるべきだが、その方向性は。

答 個別的に行ってきた子育て支援事業を集約化することで、一層充実した展開が図れる。

問 子ども・子育て支援新制度に向けて条例策定から考えると、1年を切っている。進捗状況と計画を問う。

答 事業計画は、26年度中に策定する必要があるため、26年秋までを目標に計画案を作成する。

杉並区における子どもの育つ環境について



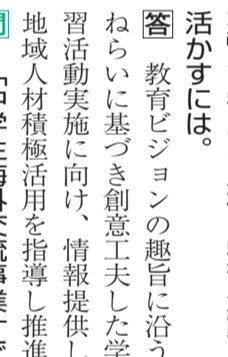
山本あけみ (民社)

問 児童館の「ゆっキッズ事業」の評価と、区立施設再編整備計画での事業展開の方向性は。

答 役割は大きく利用者数も増加傾向。今後は実施箇所・時間・プログラム拡充。(仮称)子どもセンターで総合・一体的な支援実施で保護者利便性向上を目指す。

問 コミュニティ・スクール指定校での地域との連携・成果、保護者・地域への周知は。

答 地域特性を活かした活動は、高い評価を得ている。教育委員会は、保護者や地域と一体となった取組ができるよう支援する。



問 次年度開始の「土曜授業」で「すぎなみ地域大学・大人塾」で学んだ人材を学習活動に活かすには。

答 教育ビジョンの趣旨に沿う。ねらいに基づき創意工夫した学習活動実施に向け、情報提供し地域人材積極活用を指導し推進。

問 「中学生海外交流事業」で、参加生徒と引率教師の成果は。

答 生徒は互いの文化を積極的に受け止めること等を、教員は教育の考え方や指導のあり方を学んだ。教員の資質・能力の向上や啓発を考慮した人選を行う。

協働の推進 町会・自治会活性化 社会福祉協議会



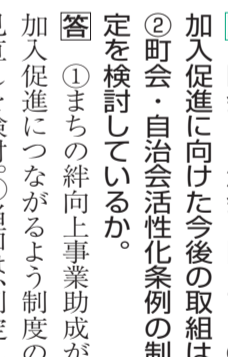
岩田いくま (自民)

問 「今後の協働の取組方針」を定めた区の課題認識を問う。

答 これからの協働のあり方として、地域の課題は地域自らの力で解決すべく、地域活動団体同士が相互に連携・協力し、地域福祉の向上に向けて相乗効果を発揮していくことがなにより重要と認識。

問 NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例の前文にある「杉並区の将来像」は、前の基本構想のもの。修正または削除する考えは。

答 条例本体の改正が必要となった場合に、あわせて適切に対応したい。



問 町会・自治会に関して、①加入促進に向けた今後の取組は。②町会・自治会活性化条例の制定を検討しているか。

答 ①まちの絆向上事業助成が加入促進につながるよう制度の見直しを検討。②当面は、制定した自治体の動向等を注視したい。

問 社会福祉協議会に、今後どのような役割を期待しているか。

答 近年深刻化している社会的孤立や経済的困窮等の生活課題を受け止め、支援する地域基盤づくり。

大学との連携、成年後見センター、落雷対策について問う



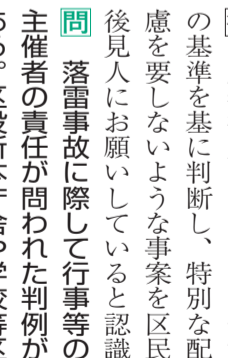
増田裕一 (民社)

問 「杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定」を締結した区内6大学の専門性を活かした、学校教育等との連携協働の可能性は。

答 相互の発展に向け協定目的を踏まえ、連携・協働を進める。

問 成年後見制度の周知に関する取組を総括した上で、区としての課題認識と今後の方向性は。

答 制度の普及啓発に取り組み、必要な支援につなげてきたが、権利擁護等の課題がある。制度の有効活用を図るべく、様々な機関に対し積極的に働きかける。



問 区民後見人と専門職団体の後見人とのすみ分けは。

答 成年後見センターでは一定の基準を基に判断し、特別な配慮を要しないような事案を区民後見人においていると認識。

問 落雷事故に際して行事等の主催者の責任が問われた判例がある。区役所本庁舎や学校等区立施設における落雷対策は。

答 本庁舎は避雷針を3本設置。区立施設は高さ20メートル超の建物等に避雷針を設置。運動場等では、雷注意報の発令等があった時は、安全な場所に避難する等の対策を講じている。

妊娠・出産・産後の切れ目ない支援で希望が叶えられる社会



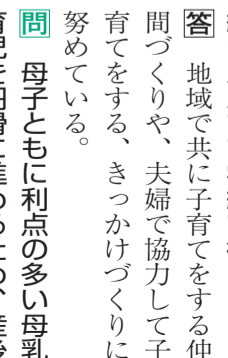
山本ひろこ (公明)

問 厚生労働省は平成26年度予算の概算要求に産後ケアモデル事業を計上している。現時点で区はどう受け止めているのか。

答 産後の母子に対する支援は重要。モデル事業の詳細が明らかになった段階で、区の取組との関係性を含め十分研究する。

問 全国的に実母による低年齢児の虐待・虐待死が多い傾向にある。区の児童虐待の現状は。

答 新規相談件数は、ここ2、3年増加傾向にある。うち虐待に該当したケースの被害者は、未就学児が約5割となっている。



問 育児を少しでも心安らかに楽しんでもらうように、母親学級やパパママ学級で行うことは。

答 地域で共に子育てをする仲間づくりや、夫婦で協力して子育てをする、きっかけづくりに努めている。

問 母子ともに利点の多い母乳育児を円滑に進めるため、産後ケアは重要。江戸川区には、支援家庭への地域住民が主体となった支援事業がある。区の訪問育児サポーター事業の状況は。

答 1歳未満の乳児がいる家庭の希望で、先輩ママが育児技術の指導・助言等を行っている。



進めている学校の再編・一体化は財政上の問題



鈴木信男 (共産)

問 「小中一貫教育校が良いと言っているのか分らない」「小規模校であることは教育上マイナスではない」「小中一貫校にする動機が少子化でなく、区の誤った学校選択制である」という住民の声がある。学校改築は、財政問題が主と区は認めている。新しい学校づくり検討会議の委員は、「お金の問題から入るとお金のため学校を潰すのか」という話になるので、そういう取組方はしない」との本質も述べている。学校の再編・統廃合は財政上の問題ではないか。

答 豊かな人間性を育て、質の高い学校づくりを推進するため、教育環境改善の観点から行う。



問 教育委員会は、「施設一体化に寄与したのは、学校希望制度の選択」と認識と述べている。小中一貫校化による統廃合は、希望制によるものではないか。

答 学校希望制度の目的は、開かれた学校づくり。制度検証の中で、目的達成したため見直した。

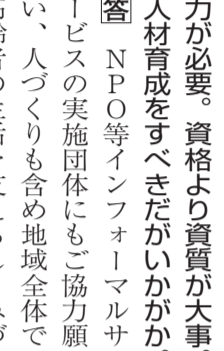
地域包括ケアシステムは地域の支え合い団体とともにつくれる



市橋綾子 (生ネ)

問 要支援者への生活支援サービスは重度化予防に効果あり。介護保険法改正でこのサービスが区の事業に移行した場合でも移行前と同様のサービス利用ができるようにすべき。

答 このサービスは大変重要。適切な単価設定で良質なサービスが提供できる人員配置基準と財源確保がされるべきと考える。



問 地域包括ケアシステムづくりにインフォーマルサービスを担う市民活動団体の参加を求めらるものだが、実際にケアシステムを動かすにはコーディネート力が必要。資格より資質が大事。人材育成をすべきだがいかがか。

答 NPO等インフォーマルサービスの実施団体にも協力願いたい、人づくりも含め地域全体で高齢者の生活を支えるしくみづくりを考えていきたい。

選管委員の報酬条例改正を！放5開通への環境対策求める



けしば誠一 (無区)

問 病気で長期欠勤した選挙管理委員への報酬を、返還するよう求めた住民訴訟の地裁の判決からも、区の条例に不備があると考え。条例改正が必要では。条例改正は、現時点では考えていない。

問 杉並清掃工場資料室に、「ごみ戦争」の歴史等、貴重な資料が収集されることになった。区の協力を求める。



問 富士見丘通りの交通量は、放射第5号線の整備による影響はないと都は説明しているが、地元住民は納得していない。あらためて説明を求める。

答 最新の交通量推計について、資料が出来次第公表する等、都に対し丁寧な説明を求めていく。

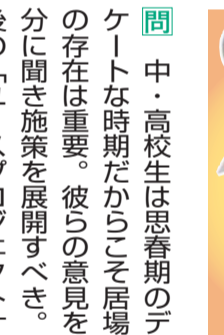
子どもの居場所は変わりつつあるが育ちには連続性が重要



山下かずあき (民社)

問 施設再編で児童館が持つ、目的が無くても来館できる「ふらっと立ち寄り」の環境をどう確保するのか。子育て支援には、身近な先輩ママたち等との交流が、リアリティーもあり有効である。

答 ゆうキッズ事業の中で乳幼児親子が気軽に立ち寄れる居場所環境確保と、新米ママと先輩ママ等幅広い親同士交流を図る。



問 中・高校生は思春期のデリケートな時期だからこそ居場所の存在は重要。彼らの意見を十分に聞き施策を展開すべき。今後の「ユースプロジェクト」や「中高生委員会」の取組は。

答 これまで中・高校生当事者から意見を聴取し、これらをもとに「中・高校生の新たな居場所づくりに関する基本的な考え方」をまとめた。ユースプロジェクト等は、組織のあり方や活性化に向け改めて検討する。

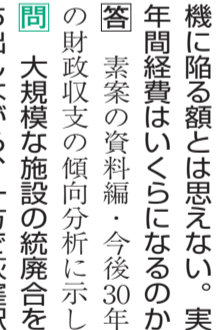
区民合意なき施設の統廃合と使用料半額制度廃止は撤回を！



原田あきら (共産)

問 現在の児童館は、ゆうキッズや学童クラブ、一般利用の小学生、少数ながらも中学生を受け入れることで、子育て施設としての価値や安心感が生まれている。この機能をバラバラにして、同機能を維持できるのか。

答 丁寧かつ段階的に進める。



問 区民や現場職員、専門家の声をまるく聴かないトップダウンの政治手法と断ぜざるを得ないが区長はどう考えるか。

答 区民等の意見を聞き作成。今後はアンケート等を通し聞く。

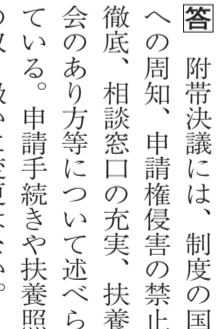
方南町駅バリアフリー早期実現、危険な特定秘密保護法反対



新城せつこ (無区)

問 特定秘密保護法の危険性について、住民の安全と人権を守る立場から区長の考えを。

答 国は国民から理解が得られるよう、慎重に進めていくべき。



問 生活保護法改定案で、これまでの申請方法や扶養照会等とどう変わるのか。受給制限につながる危険性はないのか。附帯決議は、どう内容なのか。

答 附帯決議には、制度の国民への周知、申請権侵害の禁止の徹底、相談窓口の充実、扶養照会のあり方等について述べられている。申請手続きや扶養照会の取り扱いに変更はない。

秘密の公開、140万報酬の返還を命じる杉並区敗訴判決



奥山たえこ (緑党)

問 数年前、私の情報公開請求に対し、非公開とされた録音記録は、今は公開できるのか。

答 杉並公会堂PFI事業審査委員会の録音記録が公開された場合、委員の特定が可能となるだけでなく、今後同種の審査事務の公正かつ適正執行を困難にする恐れがある。現在も非公開。



問 当区の行政委員会の委員の報酬条例は、月額報酬について「職務に従事した当日を支給する」とある。ところが月額報酬については「この行為をしたものに支給する」という文言はまったくなくて、職務に就いたことの対価であると読める。月額報酬支給の根拠は何か。

答 勤務の態様等を考慮し支給するものと条例で定めた。



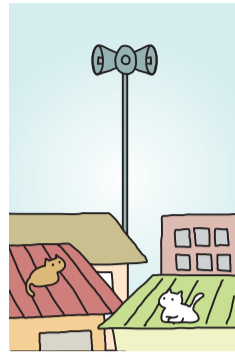
杉並区の防災・高齢者
施策・生活保護について



田中ゆうたろう
(美杉)

問 環七地下調節池が昨秋満水となった。区の対応と課題は。

答 指定避難所に加え2カ所を臨時に開設し、周辺地域へ情報提供を丁寧に行った。迅速な情報提供や避難所開設を心掛ける。



問 区と隣接市区間の避難者受け入れ体制の現状と課題は。

答 23区・武蔵野市との協定があるが、具体的な実施方法は今後十分に協議していく。

問 南伊豆町での特養整備計画について、区から遠過ぎる。民間事業者に自らの土地を活用した整備を促すなど、区内または区近隣において、様々な整備手法を検討すべきでは。

答 区立施設再編整備で生じた区有地や未利用公有地の活用、南伊豆の整備等、多様な手法で取り組む。

問 生活保護費不正受給防止に対する区の現在の取組は。不正受給通報制度等、他自治体の特徴的な取組への認識は。

答 資産調査員を配置し、不正受給の発見に努めている。参考にするべきものは取り入れていく。

韓国瑞草そうさ高校の慰安婦像設置・高円寺地域の学校づくり



松浦芳子
(同志)

問 区の友好都市である韓国瑞草区にある瑞草高校に、慰安婦像が設置された。区は、どう対応するのか。

答 自治体間の交流は、顔の見える交流なので、相手の立場に立って考え適切に交流する。ソウル特別市立の高校であり、この件に関し、問い合わせ等はしない。



問 慰安婦碑や慰安婦像が、ソウルやアメリカに建てられ、ドイツにまで建てられようとしている状況をどう感じているのか。

答 政府間の関係は、外交の中で解決すべきものと認識。

問 河野談話の根拠が崩れたことについて、教育委員会の見解は。

答 様々な見解があることを新聞報道等で認識している。

問 朝日新聞に「学校がなくなる高円寺、問題点は？」という意見広告を出したグループがある。その後、その方たちと十分話し合いはしたのか。

答 地域の関係者に対して準備会報告書や計画案等を説明してきた。その際、意見広告を出された方とも何度も会い、意見交換を行っている。

高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせるまちづくり！



横田政直
(みん)

問 町会・自治会の取組を活性化するため、NPO団体等との協働に力を入れるべき。

答 自主的取組が基本だが、地域活動団体同士の活動の裾野を広げる取組へ支援を行っている。

問 「障害者地域相談支援センターすまいる」は、一般相談から気軽に受けられるはずだが、職員に対する研修実績と予定は。

答 25年は、4月に相談全般に関する基本的事項を、11月に地域包括支援センターの役割と連携がテーマの研修を行った。

問 ゆうゆう館は、地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めていくとのことだが、身近な地域で高齢者が気軽に集まることは今後もできるのか。

答 多世代が利用できる地域コミュニティ施設モデルとなる取組を行い、その後、施設の配置数や運営方法等を検討し、機能と役割の継承・発展を図る。



問 病欠した元選管委員の報酬を区長が返還請求するよう命じる判決が出たが、今後同様のケースが生じた場合の対応は。

答 議会での罷免も一つの方法だが、実態を一番理解している本人が判断することも必要。

宴会場・レセプションホールを杉並区が建設する必要はない



堀部やすし
(無)

問 図書館サービス基本方針は「学びの場」「知の共同体」「楽しい交流空間」としての新たな図書館像を打ち出したが、中央図書館を除き、それを実現するスペースがどこにあるのか。

答 講演会を実施している多目的ホールや講座室を活用したい。



問 公文書管理条例の制定とともに、公文書館としての機能をもつ施設環境の確保も必要だ。

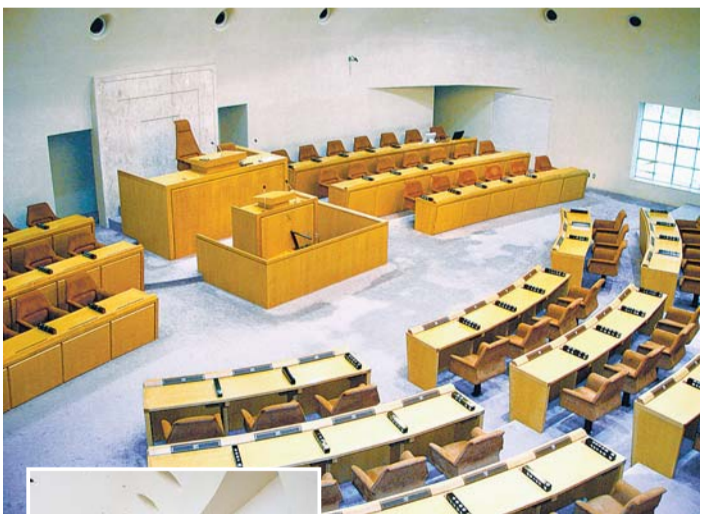
答 公文書管理機能を有した環境整備はシステムの入れ替えを視野に入れて検討する。

問 杉並第一小学校を建て替えるにあたり、宴会場・集会室・産業商工会館など、あまりにも性質の異なる施設と統合し合築する構想が打ち出されている。しかし、宴会場は、民間でも提供可能で、区が建設する必要はない。当該小学校に統合すべき施設は宴会場などではなく、図書館ではないか。併設される集会室の有効活用等により新たな図書館像の実現も可能となる。

答 一つの意見としては承る。当該地は既に隣接する利便性の高い立地条件なので、区民意見を聞きながら、まちづくりの視点からも検討し具体化する。

区議会の傍聴にお越しく下さい

傍聴は、議会活動を知りもっとも身近な方法です。本会議や委員会は、定員の範囲内でどなたでも傍聴できます。車椅子での傍聴や手話通訳による傍聴もできます。また、一時保育も受け付けています。ぜひ、お越しく下さい。



▲議場 (区役所中棟 4階)



▼議場傍聴席 (区役所中棟 5階)

【申し込み方法】

会議の当日、区役所中棟3階の区議会事務局でお申し込みください。受け付けは開会時間の15分前からです。

手話通訳をご希望の方は、傍聴希望日の4日前までにお申し込みください。

また、一時保育を希望する方は、傍聴希望日の7日前までにお申し込みください(おおむね6カ月から就学前のお子さんが対象、費用は無料、申込順で各日定員4名)。

議会の日程等は、区議会事務局へお問い合わせください。

【傍聴席の定員】

議場=59人/第1委員会室=12人/第2委員会室=15人/第3・4委員会室=22人

— インターネット中継 —

本会議の様子を、区議会ホームページで生中継しています。

また、会議終了後おおむね24時間後に録画中継をご覧になれます。おおむね一週間後には、内容や質問者ごとにご覧になれます。

◇区議会ホームページ <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/>



議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 平成25年12月6日議決（※は11月22日）

件名	概要	自民	公明	民社	共産	無区	同志	自ク	生ネ	みん	無	共生	美杉	緑党	結果
杉並区行政財産使用料条例の一部を改正する条例	高齢者活動支援センターの第3講座室の目的外使用の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
杉並区風致地区条例	風致地区内における建築等の規制に係る条例の制定に関する基準を定める政令の一部改正に伴う風致地区内における建築等の規制に関する必要な事項の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区社会教育委員の設置に関する条例の一部を改正する条例	社会教育法の一部改正に伴う社会教育委員の委嘱の基準の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	可決
平成25年度杉並区一般会計補正予算(第5号)	小学校特別教室の空調設備整備や済美養護学校の教室増設経費など、新たな事情の変化や緊急性等の観点から10事業4億8,727万7千円の補正のほか、債務負担行為の追加補正	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道の路線の認定について	荻窪三丁目7番～7番で新たに特別区道第2574号路線を認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道の路線の認定について	荻窪三丁目7番～21番で新たに特別区道第2575号路線を認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道の路線の認定について	荻窪三丁目7番～7番で新たに特別区道第2576号路線を認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道の路線の認定について	荻窪三丁目7番～7番で新たに特別区道第2577号路線を認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道の路線の認定について	荻窪三丁目7番～7番で新たに特別区道第2578号路線を認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区立大田黒公園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：箱根植木株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦について ※	任期満了に伴う候補者として、吉橋正美（よしはし まさみ）氏を推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	区長等の給料月額の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職員の給与の改定等	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給与の改定等	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	学校教育職員の給与の改定等	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した損害賠償額の決定の報告及び承認について ※	区清掃車が、杉並清掃工場に向かう途中に起こした事故に関する損害賠償額の決定の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	報告承認
杉並区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	区議会議員の報酬月額の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書	下枠内をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
軽度外傷性脳損傷に関わる労災障害等級認定基準の改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書	下枠内をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

議員別の表決結果は、区議会ホームページの「議案一覧」でご覧になれます。

《会派名・構成人数》

自民/杉並区議会自由民主党(11人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、民社/民主・社民クラブ(7人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、無区/無所属区民派(2人)、同志/杉並同志会(2人)、自ク/自民と区政クラブ(2人)、生ネ/区議会生活者ネットワーク(2人)、みん/みんなの党杉並(1人)、無/無所属(1人)、共生/共に生きる杉並(1人)、美杉/美しい杉並(1人)、緑党/緑の党(1人)

アメリカ合衆国の核性能実験に抗議し、要請書を送付

区議会は、アメリカ合衆国がニューメキシコ州サンディア国立研究所で実施した核性能実験に抗議し、今後一切の核実験の停止を求める要請書を11月5日付で、アメリカ合衆国大統領宛に送付しました。

容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書を提出

容器包装リサイクル法は、3Rの優先順位に反して、リサイクル優先に偏っている。そのため区議会は、容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律を制定することを求める意見書を12月6日付で、国及び政府に対し提出しました。

軽度外傷性脳損傷に関する労災障害等級認定基準の改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書を提出

日本では軽度外傷性脳損傷の認知度が低く、診断基準もないため、病気を理解されず、悩み苦しむケースが多い。また、労災や自賠責の補償対象にならず、働けない場合には経済的に窮状に陥ってしまう。そのため、区議会では、診断基準の策定、労災認定基準の改正、教育機関への啓発・周知を図ること等を求める意見書を12月6日付で、国及び政府に対し提出しました。

※要請書・意見書の全文は、区議会ホームページの「意見書・決議等」でご覧になれます。

全員協議会を開催しました

11月19日に全員協議会を開催し、「杉並区立施設再編整備計画(第一期)・第一次実施プラン(素案)」、「使用料等の見直し(素案)」について区から説明を受けました。

※全員協議会は、区政に関する重要事項または議会の運営に関し、協議または調整を行う会議です。

議会日誌

- 11月8日 議会運営委員会理事会議
- 11月11日 議会運営委員会
- 11月15日 議会運営委員会理事会議
- 11月19日 全員協議会
- 11月20日 議会運営委員会理事会議
- 11月21日 本会議
- 11月22日 本会議
- 11月24日 災害対策特別委員会(視察)
- 11月25日 区民生活委員会
- 11月26日 議会運営委員会理事会議
- 11月27日 保健福祉委員会
- 11月28日 都市環境委員会
- 11月28日 本会議
- 11月28日 文教委員会
- 11月29日 総務財政委員会
- 12月2日 災害対策特別委員会
- 12月3日 道路交通対策特別委員会
- 12月4日 文化芸術・スポーツに関する特別委員会
- 12月5日 議会改革特別委員会
- 12月6日 議会運営委員会
- 12月6日 本会議
- 12月11日 保健福祉委員会(視察)
- 12月19日 災害対策特別委員会(視察)